

むくろじ

大道理ホームページ 「人と自然が繋がる里 おおどろ」 開設、始動しました！

十一月。大道理ホームページ「人と自然が繋がる里 おおどろ」が開設され、稼働し始めました。制作されたのは、防府市のデザイナー事務所「NOBUSHI GRAPHICS（ノブシグラフィックス）」さんです。



▲NOBUSHI GRAPHICS さんに作って頂いた大道理ホームページ
「人と自然が繋がる里 大道理」です！
HPアドレス：<http://shunan-odori.jp>

ノブシグラフィックスさんは来月六月を目標に、平成二十四年度に廃校となった翔北中学校で、周南市北部の中山間地域活性化を担う会社を設立されることとなりました。

今回のむくろじでは、大道理地区の方々や周南市北部の中山間地域の方たちにとって今後、大きく関わって来られることとなるノブシグラフィックスの代表取締役社長、中司隆文さんに、中山間地域活性化への思い、これからの展望について、お話を伺いました。

NOBUSHI GRAPHICS（ノブシグラフィックス）

中司隆文さん



大道理のホームページを作って頂く中で、内容の最終確認の段階で、中司さんが交流館にいられた。初めてお会いしたのが七月末でした。それから内容について、詳しく具体的な話をするため、

発行元
大道理夢求の里交流館
運営協議会
TEL：0834-88-1830

平成27年
12月1日号
(No.8)

大道理地区の世帯数と人口
世帯数 188世帯
人口 401人
男性 182人
女性 219人
(平成27年10月31日現在)

山田事務長と九月初旬、防府市のノブシグラフィックスさんの事務所に向いました。じっくりと中司さんのお話をお伺いしたのはその時が初めてで、ホームページのことだけでなく、これからの中山間地域について、熱い思いを持たれていることを知り、楽しんで豊かなアイデアを次々と話されている姿を観て、中司さんのお人柄を垣間見た気がしました。



ノブシグラフィックスの中司隆文さん（右）、とデザイナーの清水さん（左）。手前は交流館の井上館長と山田事務長

の垣根を越えた中山間地域全体の底上げが、それぞれの地域の活性化につながります。観光についても、地域ごとの観光地をまわる、一日ゆっくり楽しめる周遊コースを北部中山間地域全体で協力しながら整えていくことで、沢山の方に、より訪れてもらえます。中山間地域から発信して、市街地から中山間地域に来てもらう仕組み作りが必要です。



と、この日、中司さんが初めて出された、当館の井上正幸館長の持論と全く同じ意見を開口一番、口にされました。「これから取り組んでいくこととしては、観光で来られた方に、買っていただくお土産の特産品を創っていくこと。」

漫画の聖地、平成の「ときわ荘」誕生！ 漫画塾で人材育成と活性化を



ふるさと祭りの「農産物表彰」に出品された農家さんご自慢の果物、野菜などの大道理産農産物。名産品づくりの商品開発は、今すぐにもやりたいです。中山間地域には、観光資源にして光資源にして、農産品にしても素晴らしいものがある。山口市の方にもまだ知られていない気がして、とても勿体ないです。



山口県発のデザイン、漫画コミック誌「STEP」 YIC キャリアデザイン専門学校発行、制作編集 NOBUSHI GRAPHICS（ノブシグラフィックス）
STEPに掲載されている漫画作品。こちらの作家さんたちの中には移住を検討されている方もおられます！



そして、翔北中学校での活動のもう一つの大きな柱は、クリエイターを育てる漫画塾で人材育成することです。漫画塾では、プロの漫画家による指導をして、漫画家のプロダクションを設立し、ここで育った漫画家たちがプロとして活躍していくこととなります。現在、YIC キャリアデザイン専門学校の卒業生で、漫画家としてデビュー目前の四名の若者たちと、指導者とが大道理地区への移住を考えています。

農作物を作るのに適した大道理地区の地の利を活かした特産品づくり、人材を育てる漫画塾、そのどちらともが雇用を生むことにつながり、仕事が生まれれば、中山間地域へ移住される方が増え、その方たちが定住することが出来、人口減少、高齢化問題への対策にもつながります。

夢の実現、強力にサポートします！

私たちの仕事は、地元の方のやりたいことをお聞きして、仕事の中で培ってきた幅広い業種の方たちとの（人脈の）ネットワークを活かして、それぞれの方たちの得意分野に沿って具体的形にしていくことです。今まで様々な業種の方と関わって来ましたが、そうすると、それだけ色々なアイデアが出て来ます。皆さんがやりたいことについて、より早く人を集めることが可能で、その中でチームとして仕事をしたいと、広がりが生まれ、形になるスピードも、これから格段に速くなるのではないかと考えています。

大道理のホームページが出来上がりました。こちらは、これから特産品が出来た時には、お店としての役割も果たすようになります。特産品を直接ホームページから注文出来るようになります。今まで商品の販売で不利に働いていた中山間地域という立地は、もはや関係なくなりました。

今後、中山間地域からの情報発信は、そこに実際に住まう人の目線で作られた地域情報新聞とホームページ等のWEB（※ウェブ・インターネット）を通じて様々な情報を発信する仕組みを組み合わせることが大切です。そのためには情報発信する仕組みの構築に、しっかりと取り組むことが大切です。



これからノブシグラフィックスさんが活動を展開される翔北中学校校舎

翔北中学校とノブシグラフィックスとは別の会社です。翔北中学校は自分の夢の部分を、一校の仕事を、学校の先生に任せ、世界（世界）を代表する施設にします。と、熱く、これからの抱負を語って下さいました。

【平成15年の「ルーラル315・376 徳山いきいき農林フェスタの様子です」



平成11年の「風船飛ばし」の様子です。井上さんのお話で当初、「とても盛大なお祭りだった」とお聞きしました。...

特別企画

「ふるさと祭りのルーツを辿る」第一回 ルーラルフェスタ「ふるさとまつりへ」

十一月八日、「元気！大道理ふるさと祭り」が行われました。このお祭りの歴史は古く、大道理地区の七十歳代の方から...

【今年のふるさと祭りの風景です】



「農産物品表彰」の品々をご覧になっています



「野菜のセリ」の様子です



「じゃんけんゲーム」の様子です

「元気！大道理ふるさとまつり」開催！

「ふるさと祭りのルーツを辿る」第一回 ルーラルフェスタ「ふるさとまつりへ」

「ルーラルフェスタ」初期の風景

井上さんは常々、山陰方面(北浦)の知人の方がたから、「瀬戸内側の徳山は、野菜を作っても売れる市場があるけど、こっちは作っても、人そのものが少ないから売れない」という話を度々耳にされてきました。...



小学生が演奏をしています



「お餅つき」の風景

左と右の写真は「ルーラル315・376 徳山いきいき農林フェスタ」の様子を写したものです。「農産物品表彰」や、作品展示など、現在もふるさと祭りで行われているものや、小学生の演奏、餅つきの写真など、現在では見られなくなったものもあります。...

「ルーラルフェスタ」誕生のきっかけ

一年の始まりは大高神山登山から！ 大高神山年頭登山 平成28年 1月1日(金) 集合時間：登山口 6時 登山時間：四十分から一時間くらい...

「大道理をよくなる会」からのお知らせ 大道理をよくなる会では、大道理の歴史や文化を伝えるために、大道理の歴史や文化を伝えるために、大道理の歴史や文化を伝えるために...

夢求の里農業小学校 冬季特別授業開催！ 「ミニ門松づくりと芋飴試食会」 平成27年12月19日(土) 会場：夢求の里交流館...

編集後記 8号目となった「むくろじ」は再びの難産で、真っ白な思考停止に陥り、件の救世主「トラ吉」君に癒しを求めて会いに行きました。...



「梅干飛ばし」です

「ルーラル315・376フェスタ」が六、七日の両日盛大に開かれ、徳山市大道理の「徳山いきいき農林フェスタ」ではそば打ち体験やふぐ汁販売など地元の特産品を詰め込んだ店が並んで賑わった。...